

# 遠賀

No.181 2026.1.25

おんがちょう

発行／福岡県遠賀町議会

## 議会だより



年頭挨拶、12月定例会	・・・	2
一般質問	・・・	4
委員会レポート	・・・	14
傍聴者の声など	・・・	15
議会の活動など	・・・	16

### 広渡小学校2年生議場見学 令和7年11月14日(金)

広渡小学校2年生の2クラスの児童たちが昨年と同様に「町探検」の授業で遠賀町役場を訪れました。

議場では、対応した役場職員へ児童たちからインタビューを行い、議場の音声認識表示システムを体験してもらいました。

詳細は16ページ(裏表紙)へ

謹んで年頭の

ご挨拶を

申し上げます



新年おめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から町議会に対する温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、本町においては、交通空白地対策と遠賀町コミュニティバスの補完を目的としたデマンドバスの有償実証運行が開始されました。

また、遠賀川駅南地区の開発現場においては、電気・ガス、道路や水路などのインフラ整備が進んでおり、土地がハウスメーカーに引き渡され、いよいよ駅南地区に住宅ができます。駅南地区では、最終的に人口1700人を想定した新しいまちづくりを目指しているとのこと、今後もさらなる発展が期待されます。

本年も町議会へのご理解とご協力をお願いするとともに、町民の皆さまのご健康とご多幸を祈念申し上げます。

遠賀町議会 議長 織田 隆徳

# 12月定例会

12月2日から12日までの11日間、開催されました。

令和7年度

## 一般会計補正予算

合計4億2362万円増額

(万円未満四捨五入)

(全員一致可決)

第7・8回目の補正予算は、合計4億2362万円を増額し、予算規模は116億2489万円になりました。

### 【主なもの】

※住民税非課税世帯の高齢者にエアコンを!

※65歳以上のみで構成される世帯

594万円

経済的にエアコン設置が

困難で、体温調節機能の低下

などから熱中症や低体温

症などにかかるリスクの高

い高齢者世帯を支援するた

め、エアコン設置にかかる

費用を助成します。(購入前

の事前申請制)



2005年3月31日以前のエアコン

### ●対象者

①1台もエアコンを所有していない世帯(故障による使用不可能も含む)

※上限額は9万円

②2005年3月31日以前に製造のエアコンを1台しか所有していない世帯  
※上限額は5万円

子ども一人につき、

福岡県産米

5kgを交付!

1328万円

物価高騰が続く中、その影響を強く受ける子育て世帯を支援し、子どもの健全な発育を支援するため、高校生相当以下の子どもがいる世帯に、子ども一人につき、令和7年産の福岡県産米5kgを交付します。



子ども1人に交付される米5kg  
(実物とは異なります)



ふれあいの里に  
防犯カメラを設置！

歳入25万円

施設を利用する町民の安全や防犯のため、ふれあいの里の施設内や農園など12カ所に防犯カメラを設置した事業費に対し、県の補助金25万円を活用します。

町内4カ所の  
こども食堂に支援！

156万円



支援金はこども食堂の施設整備にあてられます  
(イメージ写真)

町内4カ所のこども食堂  
(遠賀川区の「えがお食堂」)

別府区の「ちくようごはん」浅木区の「ふれあいこども食堂」と「あさぎこども食堂」に対して、企業版ふるさと納税を活用し、施設整備や備品購入などを支援します。

町民の生活支援のため  
商品券を配布！

1億4999万円

物価高騰に苦しむ町民の生活を支援し、併せて町内の経済を循環させるため、町内店舗で使える商品券を町民に配布します。

●対象者

令和8年1月1日時点で

遠賀町に住民票がある人

●金額

1世帯1万円分(商品券500円分×10枚を2冊)、世帯人数2人目以降は1人5000円分

●配布時期

令和8年2月上旬から

## 条例制定

保護者の就労の有無にかかわらず、保育所などが利用できる制度が始まります

(賛成多数可決)

令和8年度から、保育所などに通っていない0歳6カ月から満3歳未満の子どもを育てている家庭が、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度」が始まるため、事業者の設備及び運営についての認可基準を定めます。



「こども誰でも通園制度」に向け準備が進んでいます(遠賀川保育園)

## 条例改正

林野火災の注意報・火災警報の運用を開始します

(全員一致可決)

「遠賀町火入れに関する条例」に、林野火災に関する注意報・火災警報を加えます。

令和7年に岩手県で発生した大規模な林野火災を受けて改正されたものです。  
令和8年1月1日から施行します。



令和5年に遠賀郡内で林野火災があった金山

賛否が分かれた議案 (○：賛成 ▲：反対 欠：欠席) ※全員一致の13議案は除いています。

	議席番号														1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
会議名	議案名														議員名														
															仲摩	野口	田代	松本	立石	萩尾	濱田	松尾	二村	舩添	仲野	中野	織田		
12月定例会	遠賀町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について														○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		(議長)
	遠賀町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について														○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	遠賀町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について														○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○			



# 町政を問う一般質問



【12月5日、8日、9日に9人の議員が一般質問を行いました。】

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などを尋ねたり、町への提言を行ったりすることです。

ページ	質問議員	質問事項
5	舩添 博孝	◎小学校の長期休業期間中（夏休みなど）における学童保育の昼食について
6	仲野 新三郎	◎大雨時の災害対策について
7	仲摩 靖浩	◎小中学校の就業中の教職員の連絡手段について ◎企業版ふるさと納税について
8	松尾 啓太	◎遠賀町商工会との災害時連携・応援協定について ◎遠賀町みんなの夢応援プロジェクトについて
9	濱田 竜一	◎遠賀総合運動公園各施設の維持管理について
10	萩尾 修身	◎町長の政治姿勢について ◎小中学生のスマートフォンの使用について
11	野口 久美子	◎教員の働き方改革の進捗状況について ◎特別障害者手当の受給者の状況と今後の課題について
12	田代 順二	◎不登校対策について ○マイナンバーカードと健康保険証の一体化について ○学校給食費無償化について
13	松本 登	◎町民を苦しめている米の価格高騰と対策について ◎一般質問の合理的な質疑応答への改善策について ◎遠賀町の主要農産物である米の、ふるさと納税返礼品について



一般質問の議事録は、  
遠賀町ホームページで公開します。

最新の議事録掲載には  
時間がかかりますので、ご了承ください。

◎：記事掲載あり

○：記事掲載なし

議事録検索はこちら



ますぞえ ひろたか  
舩添 博孝



## 夏休みなどの学童保育の昼食に給食を活用する考えは

他の自治体の事例を参考に、国の動きも注視して研究していく

### 学童保育の昼食の提供について

**議員** ひとり親世帯や共働き世帯の負担軽減のため、夏休みなどの長期休業期間中の学童保育の昼食に給食の活用や弁当事業者との連携などに取り組み考えはないか尋ねる。

**町長** 夏休みなどの長期休業期間中の昼食は、特にひとり親世帯や共働き世帯の保護者にとって負担になると考えている。これまで保護者からの昼食提供の要望は上がっており、ニーズの把握なども行っていない。

学童保育で昼食を提供する場合、衛生管理や個々のアレルギー対応、栄養バランスの管理、配送などができる相手先があるか。また、学童保育側で容易に提供が可能か、

提供金額と利用希望がどれくらいあるのかといった課題がある。本町としては、これらの課題の整理や他の自治体の事例も参考にしながら国の動きも注視し、引き続き研究していく。

**議員** 学童保育に通っている児童は、過去5年間の平均では約350人だが、学童保育の昼食に給食を活用するため、長期休業期間中の約2カ月間、給食センターを稼働した場合、必要な予算の見込みを尋ねる。

**教育長** 実際に稼働できるかどうかは協議が必要だが、仮に稼働した場合、土日を除く実質約40日間、通常の給食メニューと同じように350人分の給食を調理し、各学童保育に配送した場合、概算で約638万円の経費が必要

要と見込まれる。内訳は、調理委託料が約143万7000円、食材費約399万円、配送業務委託料約28万円、燃料費、光熱水費が約67万3000円である。

**議員** 国は、令和8年度から小学校の給食費を無償化すると言っている。

本町の学童保育の昼食に給食を活用する場合や弁当事業者との連携などを行う場合、給食費の補助と同様に、学童の昼食にも補助を行うことは可能なのか尋ねる。

**町長** 一部報道では、国は令和8年度から小学校で給食の無償化を実現する方針であり、中学校への拡大もできる限り速やかに検討するとの情報がある。しかし、現時点では具体的な財源や国と自治体との負担割合、実施



現在提供されている給食

対象や給食の運営方法などの制度の詳細が明らかになっておらず、今後の制度設計や予算措置によるところが大きい状況である。町としては、給食の完全無償化は国の責任で行うべきという考えは変わってはいない。今すぐに取り組めるものではないが、学童の昼食に対する補助については、今後の社会情勢の変化などに応じて、しっかりと検討していきたい。





# 令和7年8月の大雨に伴う 町内の被害状況を探る



## 住宅の床上浸水2件と工場などの 非住宅6件の被害となっている



なかの しんざぶろう  
仲野 新三郎

### 商工業事業所や農地の被害について

**議員** 町内の商工業事業所や農地・農産物などの被害状況を探る。

**町長** 住宅の床上浸水は2件、商工業事業所は6事業所で約2000万円、農産物は4経営体で総面積は12ヘクタールとなっており、金額は収獲途中のため把握できていない。

### 排水機場や水門の操作について

**議員** 大雨によって河川が増水し、氾濫の恐れがある場合の排水機場の稼働基準や水門の操作の手順を探る。

**町長** 県の施設である広渡排水機場は業者、国の

### 西川護岸整備事業の進捗について

施設である前川排水機場と曲手排水機場は地元操作人に操作を委託している。各排水機場の運転水位を超えた場合は、町と連絡調整しながら稼働している。水門は必要に応じて町が直接操作し、潮の干満の影響が強く下流の水位が低い場合は水門を開け、高い場合は閉めて流れ込みを防いでいる。

**議員** 西川護岸整備事業の未整備区間について、国の管理区間は今年度から着手されることとなっているが進捗状況と今後の計画を探る。

**町長** 未整備であった上流部は12月中旬に堤防整備に着手される。3月末までに水管橋撤去と築堤



西川護岸整備事業の未整備区間

の一部工事が実施され、その後も築堤の整備と旧室木線橋梁の撤去工事が予定されている。

**議員** 水管橋は本来町の予算で撤去すべきだが、町長が何度も国へ要望活動を行った結果、約8億円の仕事は護岸整備事業と併せて国が行うことになった。町の財政的にも非常に大きいと思うが、国に責任を持って行ってもらえるのか。

### 戸別受信機について

**町長** 大きな予算を国の方で抱えていただけるという形で話がまとまった。

**議員** 大雨時に河川の水位や道路の冠水箇所などの情報を迅速に提供する必要がありますが、令和8年度から運用される戸別受信機では、どのような情報が得られるのかを探る。

**町長** 災害時は、避難情報、避難所開設及び収容状況を主とし、その他関連情報は、状況に合わせて各種情報を配信する。道路の冠水情報も町のホームページに掲載しているが、情報収集の方法やSNSの活用などをさらに検討している。



なかま やすひろ  
仲摩 靖浩



## 就業中の教職員との緊急連絡用に機器導入が必要では



学校現場にふさわしい通信機器を調査研究し、導入を検討したい

中学校での教室との連絡は

**議員** 他県で摘発された

「教員グループ盗撮画像共有事件」以降、教員の教室への携帯電話の持込が禁止になったと聞いている。中学校における就業中の教職員と職員室間の緊急時の連絡は、どのように行っているか。

**教育長** 中学校には小学校

のように各教室にインターホン設備が無いため、直接教室や職員室に移動して連絡を取っている。

**議員** それだと不測の事

態に対処できない。現場からは「携帯用小型通信機器などを導入してほしい」との声が上がっている。就業中の教職員との連絡用に機器の導入が必要ではないか。

**教育長** 中学校からの要望

は承知している。授業中に事故が発生した場合、初動対応が遅れる恐れがあり、インターホン設備や病院などで使用されているPHSのような通信機器の導入が必要だと考えている。学校現場にふさわしい通信機器を調査研究し、導入を検討したい。

**議員** 小学校にも携帯用

小型通信機器の導入を検討できないか。

**教育長** 当面はインターホ

ンを使用していくが、防災・防犯などの危機管理への備えや屋外の緊急連絡手段として、小学校においても導入の検討は進めていきたい。

企業版ふるさと納税について

**議員** 企業版ふるさと納

税の町外企業への周知活動はどのように行っているのか。また、今後どのように行っていくのか。

**町長** 町外企業への周知

は企業版ふるさと納税のポータルサイトを通じて行っており、現在の寄附金の大部分がポータルサイトを通じた寄附の募集に町が積極的に応募することで行ったものだ。今後は、引き続きポータルサイトを通じた周知と積極的な応募に加えて、自身のトップセールスによる周知活動を行っていく予定だ。

**議員** 地域の課題解決の

ため、企業版ふるさと納税を活用したプロジェク

トを新たに策定すべきだ  
と思うが、町長の考えは。

**町長** 企業版ふるさと納

税の制度を活用し、企業とのパートナーシップによりプロジェクトを推進する手法は非常に有効であると認識している。

本町でも課題となる事業のプロジェクト化、企業版ふるさと納税を活用した事業の推進について、調査研究を行っている。



ポータルサイトに掲載中の本町の事業



# 今後、商工会と災害時連携協定を結ぶ意思はあるのか



調整がつき次第、速やかに協定の締結を行なっていきたい



まつお けいた  
松尾 啓太

## 災害時連携・応援協定について

**議員** 令和6年9月に一

般質問し、町長から商工会との災害時連携・応援協定を検討すると答弁をもらった。令和7年8月に開催された商工会との行政懇談会ではどのような意見交換があったのか。また、町としてどのように検討したのか尋ねる。

**町長** さまざまなことに

対して意見交換を行った。町からも「よろしく願います」というような発言をさせていただき、要請の方法や報告書の様式、経費のあり方等を盛り込んだ、基本的な協定書案に着手している。

**議員** 今後、商工会と協定を結ぶ意思はあるのか尋ねる。

**町長** 町内の多種多様な

事業者で構成される商工会と連携が図れることは大変心強く、ありがたいと感じている。協定書の内容の調整がつき次第、速やかに協定の締結を行なっていきたい。

## みんなの夢応援プロジェクトの趣旨

**議員** みんなの夢応援プロジェクトの制度と趣旨、

目的を尋ねる。

**町長** 少子高齢化や住民

ニーズの多様化により、行政だけでは地域課題の解決が困難になりつつある中、地域コミュニティやまちづくり団体との協働が不可欠だ。住民団体などが主体的に実施する公益性の高い事業に対し、補助金を交付することで町のさまざまな分野の地

域課題の解決や地域力の向上を目的としている。

**議員** 町の課題解決に寄

与すると審査された事業に補助率を加算する制度を設けた理由と町が期待する具体的な課題は。

**町長** 令和4年度から6

年度までは行政提案型事業と提案公募型事業に分け、補助金にも10万円の差をつけて募集していた。そのため、せっかく良い提案であっても、その時の行政提案型のテーマになければ、提案公募型事業で申し込むしかなかった。そこで令和7年度からは審査会で町の課題解決に寄与すると審査された事業に、補助金の率を加算する方式に変更した。具体的な課題は第6次遠賀町総合計画の前期基本計画の各施策に記載している。



多くの人でにぎわう住民提案型イベント

**議員** 制度の価値を広め、幅広く活用していただくための今後の周知方法や活用促進に向けた取り組みは。

**町長** 広報おんがやホームページを活用し周知している。プレスリリースにより、新聞やテレビで取り上げられるなど広がりを見せているが、効果的な周知方法については引き続き検討を行い、周知に努めていく。





はまだ りゅういち  
濱田 竜一



## 遠賀体育センターの空調設備設置の検討状況は



ロビーには設置したが、アリーナは現在検討を行なっている

総合運動公園の維持管理について

**議員** 遠賀総合運動公園

内の各施設は建築から約40年が経過しているが、体育センターの老朽化の現状や空調設備設置の検討状況について尋ねる。

**教育長** 体育センターは建

築から44年経過しており、トイレの改修などを行ってきたが、体育センター全体の大規模改修は行っていない。空調設備は、ロビーには設置したが、アリーナは現在検討中である。

**議員** 雨天時のグラウン

ドの状況を探ねる。

**教育長** グラウンドについ

ては水はけが悪く、大雨時には側溝への水の流れとともに、土の流出も起こっている。

生涯学習課長 令和3年度

に真砂土の補充を実施した。また、水切りを行っている。改修するのであれば全面的な改修を行っていきたいと考えている。



さまざまなイベントが開催される運動公園

**議員** 施設の大規模改修

に活用可能な補助金などはあるか尋ねる。

**教育長** 国土交通省や防衛

省の補助金、またスポーツ振興くじ補助金などが想定される。

**議員** 施設維持管理など

のため、補助金以外での財源確保として、ネーミングライツや各種スポーツイベントでの協賛企業などを募集する考えはないか。

**教育長** 指定管理者などと

検討を行っていく。

駅みなみとの連携について

**議員** 駅みなみに人を呼

び込むために、隣接する遠賀総合運動公園の施設の活用が重要だと考えるが、町としてまちづくりを活用する考えはないか尋ねる。

**町長** 遠賀総合運動公園

は遠賀川駅に近いということもあり、ポテンシャルの高い公園だと思っている。そのため、健康づ

くりや憩いの場、レクリエーションの場としても活用が見込まれる。

駅みなみに人を呼び込むためにも、施設の活用はまちづくりに有効な手法と考えている。施設の活用については、すでに検討に着手しており、しかるべき時期に皆さんにお伝えできるように準備を進めている。

**議員** 「ブリスゲート遠

賀川駅」として近代的な町が生まれれると思うが、今の施設との連携はどのようなになるか尋ねる。

駅周辺都市整備推進室長

総合運動公園施設の部分もしっかり考え、ハウスメーカーもしくは保留地購入者との協議を進めており、足並みをそろえていきたいと考えている。



# 署名した町民に対して どんな考えを持っているか



そういう意見があることは、  
しっかり心に留めておきたい



はぎお おさみ  
萩尾 修身

「共に前へ」は  
どういう意味か

**議員** 町長選で「共に前へ」という言葉を言っていたが、これはどういう意味で言われた言葉か。

**町長** まちづくりを、しっかり皆さんと共に進めていきたいとの思いだ。

世界水泳の応援が  
公務になった経緯

**議員** 世界水泳の応援が公務になった経緯を尋ねる。

**町長** しっかり庁内で協議をした中で、手段の一つとして行った。

署名した町民に対しての考えは

**議員** 私は次の理由で公費の返還を求める署名運動を行った。

①公費を活用するには、その費用対効果が低い。

②オリンピックに比べて、マスコミの注目度は低く、公費を使ってまでシンガポールに行く理由は疑問である。

③開催地がシンガポールでは、遠賀町をアピールすることはできない。

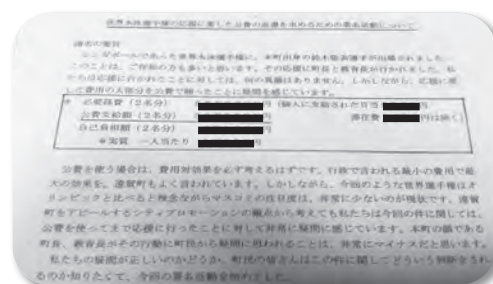
④シンガポールに行ったのが、視察ではなく純粹に応援のみである。

⑤本町の顔である町長と教育長がその行動に町民から疑問を持たれることは非常にマイナスと考える。

⑥公費である以上、町民の税金を使っているのに、町民はその使い道に物申す権利がある。

署名した町民に対し、どのような考えを持っているか尋ねる。

**町長** そういう意見があることに對しては、しっかり心に留めておきたいなというふうには思っている。



町民に配布した署名活動の用紙

公費について、判断は正しかったか

**議員** 世界水泳の応援が公費で行われたことについて、町の判断は正しかったと考えているか。

**町長** 鈴木聡美さんをし

っかり応援するという町の姿勢は、理解をいただいているところでもある。

**議員** この件に関して、費用対効果があったか検証する考えはないか。

**町長** 効果として実際に表れていると捉えている。

スマホを積極的に  
学校で活用すべき

**議員** 生成AIの出現でいろんな可能性が広がったと捉えている。スマホを学校で積極的に活用する方向にかじを切ったほうが将来を見据えた時に有効と考えるが。

**教育長** その利点よりもさまざまなトラブルが起きることが想定されるので、スマホを学校内で使用することは考えていない。



のぐち くみこ  
野口 久美子



## 教員の業務負担軽減のため 2学期制の導入の検討は



3学期制の業務内容の見直し中のため、  
導入は考えていない

教員の働き方改革  
は、進んでいるか

【議員】 北九州市では2学期制が導入され教員の業務負担を軽減しているが、本町でも2学期制の導入について検討する考えはないか。

【議員】 現時点では、現在の3学期制の年間スケジュールの中で業務内容の見直しを進めているため、2学期制の導入は考えていない。

【議員】 教員の残業時間削減のため、小学校低学年の通知表の廃止に取り組んでいる自治体もある。低学年は学校に行くのが楽しいと思える環境が大切だと思う。一つの選択肢として小学校低学年の通知表の廃止を検討する考えはないか。



午後8時頃まで電気がついていることが多い校舎

【教育長】 通知表は学期ごとにどんなことを頑張れば良いか、学びや生活の記録を子ども自身や保護者に伝えるもので大切な責務だと考えているため、廃止する考えはない。ただし、最も負担の大きかった所見欄の記載を令和5年度より3学期のみとしており、通知表の作成業務は大きく軽減されたと学校から報告を受けている。

特別障害者手当の  
周知は十分か

【議員】 20歳以上で常時介護を必要とする人に月約3万円支給される特別障害者手当の受給者数が、令和4年度末から令和6年度末まで毎年13人である。この人数をどのように分析しているか尋ねる。

【町長】 新規で認定された人もいるが対象外となる人もいて、たまたま増減が無かった。周知されておらず、申請者がいないという状況ではない。

【議員】 本町の介護保険認定者数で要介護3から5までの人数348人のうち、施設入所者が138人で残る210人が在宅者だが、手当の情報は届いているのか。また、施設入所者でも在宅扱いと

なる有料老人ホームなどに入所している人は、特別障害者手当の申請が可能となる場合があるが、漏れはないか。

【町長】 介護サービス事業者等連絡会で説明を行い、在宅扱いの施設の職員も参加するため、周知はできていると考える。

【議員】 介護サービス事業者等連絡会は何回実施し、何人の申請があったか。

【町長】 年2回実施し、そのうち7月の連絡会で説明している。申請につながったか不明だが、令和4年度から6年度までで10人の申請があった。

【議員】 年1回の説明で情報が行きわたるのか。

【福祉課長】 回数を増やすように考えている。





# 不登校対策、学びの多様化 学校を設置する考えは



## 教育支援センターを継続し、運営を 充実させることが重要と考える



たしろ じゅんじ  
田代 順二

学びの多様化学校  
を設置する考えは

**議員** 学びの多様化学校（不登校特例校）を設置する考えはないか尋ねる。

**教育長** 不登校児童生徒への支援体制の充実のため、岡垣町と共同で岡垣町・遠賀町教育支援センターを設置している。この教育支援センターを継続し、運営を充実させていくことが重要と考えており、学びの多様化学校の設置は考えていない。

**議員** 子どもたちは心が傷ついていると言われている。いきなり勉強ではなく、まずは不登校を理解してほしい。子どもたちが、休息及び回復する場所があるのではないかなと思うが、どう考えているか。



小中学生不登校の割合（日本共産党HP）

**教育長** 教育支援センターは学校への復帰も目的の一つだが、レクリエーションなど教育支援センターならではのプログラムを作っている。ここでの学びの場、居場所を充実させることで不登校児童生徒の居場所づくりとしていきたいと考えている。

**議員** 学びの多様化学校は一応何時とかはあるが、本人が行きたい時に行けば良い。ゲームをしたり、漫画を読んだりすること

も自由で、勉強したい人はすれば良い。教育支援センターも同様に行えば今、学校に行けない子どもたちも学校に行けるようになるかもしれないが、そのような考えはあるか。

**教育長** 教育支援センターは、児童生徒の状況に合わせてゲームやお話をしたり、外で一緒に弁当を食べたり、その子の実態に応じたプログラムで過ごしている。さらに充実して運営していきたい。

**議員** 不登校の原因はどこにあると考えているか。

**教育長** それぞれ子どもの心の問題で、いろいろ悩みを抱えていたり、学校生活で少しつまずいてしまったなど、さまざまな要因があるため、一概には言えないので、今こ

**議員** 私は、学校にあると思う。NPO法人多様な学びプロジェクトの不登校の当事者ニーズ全国調査では「学校が変わってほしい」と回答している子どもたちは36・9%、保護者は69・8%であり、学校に行きづらいと思いはじめたきっかけの上位3つは先生との関係だ。不登校の理由はさまざまであるため、私は学校を変えないといけないと思うが、どう考えるか。

**教育長** 行きたい学校、学びたい学校、学ばせたい学校、通わせたい学校というところで、さまざまな魅力ある学校づくりに、それぞれの学校が取り組んでいる。  
子どもたちがしっかりと学びに向かえるような教育活動を今後も引き続き行っていきたい。



まつもと のぼる  
松本 登



## 主食の米が非常に価格高騰した、この原因は何なのか



需要と供給のバランスが大きく崩れたことが第一の原因だと考える

米の価格は今年も値上がりしている

**議員** 主食の米が非常に価格高騰した要因は何と考えるか、町長の見解は。

**町長** 米の価格高騰は需要と供給のバランスが大きく崩れ、インバウンド需要や家計購入量の増加、供給については猛暑など異常気象による生産減で高騰したと考える。令和6年の米の値上がりは、供給のバランスが崩れ、集荷業者が高く集荷していった。令和7年はJAが少し高めに設定し、令和6年より1万円近く高くなっている。

**議員** 米の価格は令和7年もさらに値上がりしており、多くの町民が大変困っている。米の価格高騰対策については福岡県

とも十分協議が必要だが、遠賀町は県下でも有数の米の産地である。

JA北九と協力して産地の強みを活かし、カントリーエレベーター施設の精米機を利用して流通経費を下げ、遠賀産米を町民に低価格で提供することを検討する考えは。

**町長** 具体的な流通経費の抑え方が当然分らない部分もあるが、米の価格調整に町が介入する部分ではないと思う。

**議員** 令和7年産米「夢つくし」60kgあたりの生産者価格は、想定だが3万2000円程度だ。店頭では、令和7年11月中旬頃は5kgあたり税込4500円だった。つまり、60kgあたりの流通経費（引取・保管・精米・配送費用）が1万6600円かかるという計算だ。



生産者・消費者共に心配な米価

令和5年産米の流通経費は4370円だった。JAと協力し、精米機を活用して、低価格（5kg100袋程度）で供給できるのではないか。

**町長** 消費者と生産者がお互いに「良かったね」と言える金額に持っていけることが一番望ましい形と思う。

一般質問前に文書回答できないか

**議員** 議会の一般質問で町長の回答を事前に文書でいただければ、議論も深まり効率化すると思うが、町長の考えを尋ねる。

**町長** 答弁は開かれた透明性のある議会運営を目指す中で、本会議場において議論することが本来の機能と考える。

返礼品「夢れんげ」仕入れはどこから

**議員** ふるさと納税の返礼品である米の「夢れんげ」の仕入先は。

**町長** 数が限られており、学校給食などが優先のため、仕入れは町内大型店舗から行なっている。

# 委員会レポート



デマンドバスについて  
行政視察を行いました

令和7年10月23日（木）  
と24日（金）に第一常任委員会で宮崎県川南町、三股町にてデマンドバスについて視察を行いました。

今回、川南町、三股町を行政視察して本町と同様、デマンドバス実証実験を行いながら町民のニーズに合った運行の在り方や、多くの町民の方に利用してもらうにはどうすれば良いかなど、試行錯誤の状態だと感じました。



川南町視察の様子

デマンドバスが根付くのはまだまだ先のことになりますが、少しでも町民が住みよい町になるよう、われわれ議員もデマンドバスの推進に尽力しなければならぬと強く感じました。

子育て支援と  
健康づくりについて  
行政視察を行いました

令和7年10月23日（木）  
と24日（金）に第二常任委員会で、京都府久御山町と八幡市にて視察を行いました。

久御山町では、「みまきつこまんなか応援まちづくり事業」で、子どもから大人まで楽しめる生き生きとした町を目指す居場所づくりや、さまざまな事業を地域住民やボランティアが中心に展開していました。



久御山町議長（左から3人目）と議場にて

八幡市では、「やわたスマートウェルネスシティ計画」の健康プログラムにより、健康無関心層にアタックし、令和4年度の医療費や介護給付費で2億7000万円の抑制効果があったそうです。

本町でも、健康づくりにアプリを活用したり、事業効果を数値で示すAIの活用など参考になると思います。



町村議会広報研修会に  
行って来ました

令和7年11月7日（金）  
博多サンヒルズホテルにて、町村議会広報研修会が開催されました。

講師は一般社団法人自治体広報公聴研究所代表理事・広報アドバイザーの金井茂樹氏。演題は「戦略的広報と議会報づくりの型」

議会広報クリニックも行われ、本町の広報も評価を受けました。主に、表紙の色使いや、情報が細かすぎる点、情報の優先順位などの指摘がありました。



研修会の様子

今後も、より読みやすい広報紙作りをしていきたいと思っています。

志免町議会特別委員会  
視察受け入れ

令和7年10月17日（金）  
おんがみらいテラスにて、志免町議会シーメイト調査研究特別委員会の視察受け入れを行いました。



おんがみらいテラスを見学

志免町では、シーメイト（総合福祉施設）の今後の運用について検討しており、おんがみらいテラスの概要説明や施設見学を中心に研修を行いました。駅直結の便利さ、子どもが遊ぶ「ぐっぴい」の遊具、施設全体の清潔さにとっても感心していました。

視察受け入れを通し、改めておんがみらいテラスの素晴らしさを感じました。



# 傍聴者の声



12月定例会には、延べ38人が傍聴に来られました。傍聴者の声を一部紹介します。

学童保育の昼食や大雨時の災害対策、ふるさと納税など興味深く傍聴することができました。

仕事をされている人たちから議会のライブ中継を視聴できないため、アーカイブ録画を視聴したいとの声が上がっています。開かれた議会にしていくため、住民が市政に関心を持ってくれるようにアーカイブでの視聴を望みます。

今回は9人の方が一般質問すること。素晴らしいことです。今後ともこの方向性で進めてほしいと思います。

町民のためにあらゆる方面から取り組み、サポートしていただいているんだと改めて見識が深まって良かったと思いました。

町民の皆さんの町議会への関心の高さを感じます。質問者も多く、内容も充実していたと思う。町づくりの議論ができたと思う。良い町になってもらいたい。

高齢者がしつかり制度を利用できるように幅広く皆さんに知っていただけるように工夫してほしい。

身近で大切な事柄や問題の質疑応答を直接聴くことができて良かった。議員の名前と顔を覚える良い機会であった。

多数の議員の質問を期待する。

## お詫び

※10月25日号9ページ

当該記事の内容において「仲野新三郎議員が学校に侵入したような印象を与える」というご意見、ご指摘をいただきました。

6月定例会の一般質問で仲野新三郎議員が学校の不審者侵入対策について質問をした旨の記事であり、仲野議員が学校に不法侵入したわけではございません。

町民の皆さんに誤解を与えるような記事を掲載してしまい、誠に申し訳ございません。今後このようなことがないように、広報委員会として議会だよりの作成に尽力したいと考えております。



## 議会を傍聴して見ませんか？

本会議と委員会の様子をどなたでも直接見聞きできます。受付は午前9時からとなります。定員は30人(先着順)です。※委員会の定員は6人(先着順)



詳細はこちら

## 次回の定例会は 3月です

詳しい日程は、2月下旬に遠賀町ホームページ(<https://www.town.ongal.jp>)でお知らせします。

本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。遠賀町役場・遠賀町中央公民館・

ふれあいの里センター・おんがみらいテラス ※遠賀町ホームページからも、視聴することができます。

### 発行責任者

議長 織田 隆徳

### 議会広報常任委員会

委員長 松尾 啓太  
副委員長 立石 紘一郎  
委員 野口 久美子  
田代 順二  
松本 登  
萩尾 修身

萩尾 修身

新しい年になり、われわれ広報委員の任期もあと1年と3カ月を残すだけとなりました。読者の皆さんは、以前よりも議会だよりが読みやすくなったと、感じておられるでしょうか。若い議員が正副委員長になって、町民の皆さんに議会だよりを読んでいただけるよう、さまざまなチャレンジをしています。全国広報コンクールに入賞した自治体の視察や広報研修会で学んだことを生かしながら、広報委員が丸となって取り組んでいます。ぜひ、議会だよりを読んでください。

編集後記

## 広渡小学校2年生の皆さんが議場に来ました！



びっくりした議場の音声システム

『役場に聞けばいいんだな』と思いました。前は役場がどんな仕事かわからなかったけど、町探検で役場のことを知れました」などといった感想をいただきました。

皆さん、普段なかなか入ることができない議場での体験をととても喜んでいました。

児童たちには、実際に議場で議員と執行部の席に分かれて座ってマイクを通して発言してもらいました。

参加した子どもたちからは、「役場に議会をする場所があったのでビックリしました。テレビにマイクで言った言葉が映ってすごいと思いました」「役場で知ったことは、町の決まりを作ったりしていることです。町で分からないことがあったら



ちょっと緊張した議場での体験

## 令和8年度の議会広報モニターを募集します!!

町民の皆さんからの意見や感想などを幅広くお聴きするため「議会広報モニター」を募集します。

- 仕事内容 ▽「議会だより」に対するアンケートの記入 ▽モニター会議への出席
- 対 象 ①本町に在住の人 ②議会広報に関心がある人 ③現在、常勤の公務員ではない人
- 募集人数 5人以内 ●任 期 令和8年4月1日から令和9年3月31日まで
- 締 切 3月13日(金) ●そ の 他 予算の範囲内で報償します。
- 申込み・問い合わせ

町議会ホームページに掲載する申込書に必要事項を記入し、議会事務局に提出してください。

Tel 093 (293) 1235 <https://www.town.onga.lg.jp>



申込書はこちらからダウンロードできます

## 議会の活動（11月～1月）

日 程	本会議・委員会等
11月7日	町村議会広報研修会
11月25日	議会運営委員会
12月2日～12日	12月定例会
12月4・12・23・25日	議会広報常任委員会
1月6日	若者と議会の懇談会
1月9日	町村議会議員研修会
1月8・14日	議会広報常任委員会
1月19日	議会運営委員会
1月22日	1月臨時会

## 若者と議会の懇談会を今年も開催！

令和8年1月6日(火)に将来を担う若者に遠賀町や議会のことをもっと知ってもらうため、遠賀中学校と遠賀南中学校の生徒が、議会主催の懇談会・バスツアーに参加しました。

駅南開発の現場や排水機場の見学を行い、役場では町長表敬訪問や模擬委員会体験を実施しました。

写真や詳細の記事については次号(4月25日号)で掲載します!!